

性別に関する「無意識の思い込みエピソード」各賞及び入賞作品一覧（賞別）

	表彰名	タイトル	エピソード	部門等
1	グランプリ		<p>親戚の集まりで、叔父たちは座ってテレビを見てくつろいでいた。一方で叔母たちは料理を準備したり配膳をしたりしていた。その光景に違和感を感じた。お箸が足りない時も叔父たちは自分で取りに行くのではなく、叔母たちに取りに行かせていた。また、おかわりが欲しい時も、叔父たちは自分で入れず叔母たちに入れてもらっていた。友達に話したところ、友達の家でも同じ風習があると聞いた。これが当たり前になっていると考えると、この風習は変えるべきだと考える。男女の役割分担に固執するのではなく皆が協力し合って楽しい集まりを作ることが大切だと考える。</p>	一般の部 O.Tさん
2	最優秀賞	料理をするのは妻？	<p>自宅にオール電化の導入をすすめる営業の方が回って来たときのこと。お話だけでも、とおっしゃるので夫婦で対応しました。工事コストや年間の電気代がいくら下がるかなどをひと通り話したあと、営業さんが私の方に向き直り「奥様、お料理の火力にこだわりはありますか？」と尋ねてきました。キッチンの加熱機器について話す前の何気ない質問だったのでしょう。返答に困り口ごもる私を横目に「料理は主に僕が作ってますので」と夫が答えました。一人暮らしの経験もあり、家事全般を問題なくこなす夫。特に料理については私よりずっと得意なのです。その時の営業さんの気まずそうな顔といったら……。「料理（家事）は女性がするもの」という無意識の思い込みを強く感じる出来事でした。</p>	一般の部 T.Mさん
3	最優秀賞	誰がやっても偉い	<p>先日、私はコインランドリーに行った。そこで洗濯物を畳んでいる男性がいた。見た目が昔ヤンチャしていたような金髪で作業着姿の20代前半とみられる男性だ。その男性は幼児のくつ下を畳んでいた。私は心の中で「若い元ヤン風の男性が洗濯物を畳んで偉いな」と思った。私は家に帰り自分と家族の洗濯物を畳んでいるとき、ふと「私も家族の洗濯物を畳んでいるから偉いじゃないか」と思った。どうして私はその男性に対して「偉い」と思ったのだろうかと考えた。思うに「若い、元ヤン風、男性」だったからだ。これが「中年、真面目風、女性」が畳んでいたらなんとも思わなかっただろう。誰がやっても偉いことなのに、私は無意識に見た目や性別によって「偉い」の基準を自分の中で作っていたのだ。家族のために家事をすることは誰がやっても偉い、素敵なことだ。あの男性も私も私の家族もみんな偉い。</p>	一般の部 K.Eさん

性別に関する「無意識の思い込みエピソード」各賞及び入賞作品一覧（賞別）

	表彰名	タイトル	エピソード	部門等
4	最優秀賞	言葉の大切さ	私が中学3年生の時、生徒会長選挙に立候補し、生徒会長に就任することができました。就任が決った時、先生をふくめたくさんの人に、女で生徒会長なんてすごだね。とほめられました。最初は素直によろこんでいましたが、私は「女で」という言葉に引っかかりました。一般的に上に立つのは男という固定観念があるのはわかっていたのですが、いざ自分が「女で」という無意識な差別発言を向けられると、複雑な気持ちになりました。こういう経験を味わった身として、女性でみんなの上に立つような存在の人にお祝いの言葉をかけるときは、「女性で」や「女で」などの言葉をかけず、努力をたたえ、男女平等によろこべる言葉をかけられる人になれるよう意識していきたいです。	高校生の部 S.Mさん
5	最優秀賞	イクメン パパ	よくドラマや漫画で夫婦の家事分担に疑問をもつことがあります。例えば女性が家事をするのが当たり前と思って、男性は何もしないという考えの人達があります。特に世間で言われている「イクメンパパ」という言葉に疑問をもっています。「イクメン」とは「育児をするメンズ」の略で、育児をするのが女性という考え方が前提となっています。育児は夫婦2人で協力するべきなのに、男性が育児をすると「イクメン」といわれる世の中に納得いきません。	高校生の部 N.Aさん
6	最優秀賞	水色のランドセル	これは私が3年生、弟が1年生になる少し前のランドセルの色をどれにしようかとまよっている時の事でした。私は家でお母さんと弟が話している所に出くわして「どうしたの？」と聞きました。そしたら「ランドセルで、水色のランドセルがいいって言ってて…」とお母さんが少しどうしよう…というような顔で言っていました。私は、正直ランドセルは男でも女でも何色でもいい、と聞いていました。が、「水色のランドセルはいいと思うけど、やっぱり少し男なのに水色でいいのだろうか」と思ってしまいました。そこで私は、「あれ、私今、無意識に男なのに、とか男なら黒色とかの色がいいんじゃないかって男と女で差別しちゃった？」と思い自分が無意識の内に男は…などと、別に男でもいいものを女の方がいい、と思い込んでいたり決めつけてしまっていた事に気づいたのでした。	小学生の部 M.Kさん
7	最優秀賞	けがしてもがまんしろ	けがしてもがまんしろと言われたとき、男の子がけがをしたときはよく言われると思いますが女の子には、だいじょうぶと言われると思います。なんで男の子にはつよく言うんですか？	小学生の部 H.Yさん

性別に関する「無意識の思い込みエピソード」各賞及び入賞作品一覧（賞別）

	表彰名	タイトル	エピソード	部門等
8	優秀賞		<p>私は結婚3年目の主婦です。ある時オンラインゲームで結婚3年目、パートをしながら男の子を育てているAさんと言う方と知り合いました。</p> <p>Aさんのお相手の方は会社員でいつも帰りが遅い為、Aさんは家事などの空いた時間にお子さんが寝ている時にゲームをしている、との事でした。</p> <p>ある時、話の流れでAさんが男性だということが判明しました。会話は全てチャットのみだった為、ビックリしたのと同時に私は今まで固定概念でパートや家事などをするのは女性、外で働くのは男性と無意識に考えていたのだと、気付きました。</p> <p>女性が外で働き、家庭では男性が家事をこなす古い考えに囚われず、それぞれの選択の自由があり、それを実践しているAさん夫婦はとても素敵だな、と考えさせられた出来事でした。</p>	一般の部 T.Mさん
9	優秀賞	ひまわり	<p>「うーん」泣き虫な私に手をさしのべるのはいつも りょうこ姉ちゃん。近所の同じ位の子と遊んでる時、身体の小さな私をいつも気付かせてくれ坂道の上で待っててくれる りょうこ姉ちゃん。まっ白なTシャツには大きなひまわりの絵。30年も前の事なのに鮮明に覚えています。そんなりょうこ姉ちゃんが中学生になる!!制服姿が楽しみだなと思っていた私が目にしたのは嬉しそうなりょうこ姉ちゃんの姿ではなく、泣きじゃくる姿でした。いつも強いりょうこ姉ちゃんの泣いた姿を初めて見ました。理由は「制服のスカートが嫌だ」と。それでも毎日スカートを着て登校していました。その当時の私には意味が分かりません。成人したりょうこ姉ちゃんは遠く離れた所に仕事に行きました。何年か会わず、私も成人し久しぶりに会った時、りょうこ姉ちゃんは男性になっていました。「頑張ってお金を貯め、病院に通い、家族にも勇気を出しうちあげた」んだと。無くなった胸に服の上から手をあててみた私には何の違和感もありませんでした。昔のまま強いりょうこ姉ちゃんが誇らしくなりました。制服がスカートと決められていた当時、本人は心と身体が追いつかずとてもとても辛かったと思います。今ではやっと制服はスカートでもズボンでも選ぶ事が出来ます。りょうこ兄ちゃんは今でも強く周りの皆を支えてくれます。これからも性別に対する無意識の思い込みが少しでも無くなれば良いな、人間として生きやすい世界になれば良いなと思います。</p>	一般の部 U.Nさん
10	優秀賞	女の子だから何?	<p>私は三人兄弟で兄と弟がいます。兄妹の中で女の子が一人の私は小さい頃から様々な事を体験してきました。家のソファでくつろいでいる時には「女の子だからきちんと足を閉じて!」と親に言われたり、親戚から「女の子だから食器洗い手伝っておいで」、「女の子だからピンクのポチ袋だね。」などと言われてきました。女の子に生まれたというだけで家事を手伝ったり足をとじる事を意識したりと大人達の言う「女の子らしく」というルールを強いられるというのは今の年齢になっておかしいなと思います。悪気はなく無意識な思い込みだとは分かっていますが言われる度に「女の子だから何?」と行ってしまいます。私が大人になった時には「女の子だから…」などの無意識な思い込みでの発言をしないように意識していきたいです。</p>	高校生の部 I.Rさん

性別に関する「無意識の思い込みエピソード」各賞及び入賞作品一覧（賞別）

	表彰名	タイトル	エピソード	部門等
11	優秀賞		<p>装飾品を付けて出かけるのは、女性だけだと思いますか。更には化粧なども女性だけに限るでしょうか。私の兄が最近、韓流アイドルに憧れてピアスを付けたり、リップを塗ったりなど美容にも興味を持ち始めていて、私はむしろ共感者がいて嬉しい方でしたが、両親はともに“男らしくないぞ”、“化粧とかは女性がするものだ”などと言ってるのを聞いて兄が少ししょんぼりしてる姿に少し心が痛みました。そういった差別的な事や、男は男らしく。などと性別などの押し付けは当事者を傷つける事になるというのを今回の件で気づきました。もっと視野を広く、価値観を尊重できる世の中になっていって欲しいです。</p>	<p>高校生の部 H.Mさん</p>
12	優秀賞	自分のなりたい姿	<p>私はカッコいい服が好きだ。スカートよりもズボン、ワンピースよりもTシャツを着たい。私は短い髪にセットすることが好きだ。しかし家族は私の考えを理解してくれない。私が好みの洋服を着用しても渋い顔をする。私が髪を短く切ると、「もっと女の子らしく髪にも気を使ってみたら？」と言われる。私はそんな言葉を、表情を浮かべられる度に悲しくなる。家族はきっと純粋な優しさのつもりでアドバイスなどをくれるのだろう。でも、それは私からすれば価値感を押し付けられているように感じてしまう。理解を得たいとまでは望まないから、否定するような言葉は言わないで欲しかった。カッコいい女性になることは変なことなのだろうか？相手の感性が理解できなくても、寄り添った言葉をあげるだけで救われる心があると私は考える。</p>	<p>高校生の部 K.Nさん</p>
13	優秀賞	女の子とお母さんのお話	<p>お友達が、本当は緑の鍵盤ハーモニカがよかったのに、お母さんが無理矢理「女の子だからピンクい鍵盤ハーモニカにして」と言われた。</p>	<p>小学生の部 T.Mさん</p>
14	優秀賞	ピンクを使っちゃダメ！！	<p>ようちえんのころぬりえをしているときに、ぼくは、ピンクとオレンジを使っていると友だちが見てきて、「たけるピンク使ってる女の子の色を使ってる」といわれてピンクは使っちゃだめなのって思いました。家に帰って、お母さんに「男の子ってピンク使っちゃだめなの？」ときいたらお母さんは、「べつにピンクがきれいって思うならピンクを使ってもいいんだよ」といわれてびっくりしました。なんでかって、ようちえんで友だちにわらわられてピンクは女の子の色って思っていました。だけどお母さんの話しを聞いて、ピンクは、べつに使っていいんだ、べつにきれいって思うならいっぱい使っていいんだと思いました。それから色ぬりやお絵かきするときにはきれいなピンクの色を使っています。</p>	<p>小学生の部 T.Tさん</p>